

BASIC ETHERS OF 77OXOO7HHBENZO*C*FLUORENE AND MANUFACTURE

Publication number: JP56122335 (A)

Publication date: 1981-09-25

Inventor(s): IRUSHII KURUSHIEPERUKA; IBA BANCHIYUROBAA; KARERU RUSHIEZAABEKU; MIRAN MERUKA; BOITEKU BUIIMAN; SUTANISURABA BOKORUNAA; RUUZUENA REIKUROBAA; SURABUYANKA CHIERUNOSHIYOBAA +

Applicant(s): SPOFA SPOJENE PODNIKY +

Classification:

- international: A61K31/135; A61K31/085; A61K31/13; A61K31/205; A61K31/65; A61P35/00; C07C43/21; C07C67/00; C07C213/00; C07C217/24; C07C13/567; A61K31/135; A61K; A61K31/075; A61K31/13; A61K31/185; A61K31/65; A61P35/00; C07C; C07C43/00; C07C67/00; C07C213/00; C07C217/00; C07C13/00; (IPC1-7): A61K31/135; C07C93/06

- European:

Application number: JP19810014481 19810204

Priority number(s): CS19800000753 19800204

Also published as:

JP63006059 (B)
JP1460269 (C)
GB2068374 (A)
US4661297 (A)
SE8100616 (A)

[more >>](#)

Abstract not available for JP 56122335 (A)

Data supplied from the *espacenet* database — Worldwide

実用新案登録願

昭和54年 11月20日

特許庁長官

殿

1. 考案の名称

クサカリキ デンドウ シタ ザンソウシヨリソウチ
草刈機における伝動ケース下の残草処理装置

2. 考案者

住所 埼玉県桶川市北1丁目2番6号

氏名 ホソダ ノボル
細田 昇 (ほか/名)

3. 実用新案登録出願人

郵便番号 363

住所 埼玉県桶川市西2丁目9番37号

名称 マメトラ農機株式会社

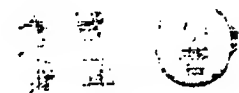
代表者 ホソダ ノボル
細田 昇

4. 添附書類の目録

- (1) 明細書 / 通
(2) 図面 / 通
(3) 願書副本 / 通

55 020759

122335



明 細 書

1. 考案の名称

草刈機における伝動ケース下の残草処理装置

2. 実用新案登録請求の範囲

伝動ケースの側方に備えたローター軸にドラムを介して取付具を複数個設け、この取付具に一对の刃を∪状に枢着し、刃の回転軌跡の外周で伝動ケース下のローター軸下で、伝動ケース最側の刃の下に迄突出させた処理刃を設け、この処理刃を左右揺動自在に作動しても刃の下面から外れないようにした草刈機における伝動ケース下の残草処理装置。

3. 考案の詳細な説明

この考案はロータリ式の雑草粉碎刈取機における伝動ケース下の草処理に関するものである。

従来伝動ケース下に個定刃を取付けて雑草処理をする考案があるが、やわらかい草のときには特に草を押し倒し、刈取れないことが多かった。

本考案は、高能率の伝動ケース下処理作業を実

施しようとするものである。

一実施例を図面について詳記すると、伝動ケース1を逆V状に形成し、上部2を折曲し両側を膨出し、変速装置を内装する。そして上部2両側に軸3を貫通し、一方の軸3に伝動ケース1と一体状に接続して設ける原動機に接続する。

逆V状の伝動ケース1の他方下部にローター軸6を貫通軸架し、ドラム7を軸着する。ドラム7の円周に平板をU字状に曲げ2面に孔9を穿設した取付具8の折曲部分を複数個熔着する。

先端を一定の角度折曲げた刃10の折部11を外向きに一对としてY状に組合せ、取付具8の孔9に刃の基部をピン12で枢着する。

しかしてローター軸6の上面に伝動ケース1の中間上部より延出した主腕13を設け、前方である先端に前輪14をアーム15を介して上下移動止着自在に備える。

刃10の回転軌跡Aより上面に刃10を覆うカバー16を主腕13に取付ける。

伝動ケース1の上部2に横架した軸3に偏心輪

31号加入

17を取付け、軸3の回転運動を上下運動に変える。そして偏心輪17にロット18を接続し、垂下する。

刃10の回転軌跡Aの後方で、伝動ケース1の上部2折曲下面に細長い揺動軸受19を伝動ケース1と平行に位置して接続板20により伝動ケース1下部に取付ける。

揺動軸受19には前後に突出した揺動軸21を貫通し、揺動軸21の後端に側方に向けた作動杆22を接着し、作動杆22端に前記ロット18の下端を自在接手23で接続する。

揺動軸21の前端には処理刃支持杆24を刃10の回転軌跡Aの外側で刃10が雑草と接触しない後方より、伝動ケース1の下面に位置して斜下前方に向け取付ける。

そして処理刃25の取付杆29を処理刃支持杆24の先端に押入し、止具28で止着する。

処理刃25は先端26を地面と略平行にして三角状に形成し、後方に行くに従い両側を広くして常時、刃10の回転軌跡Aより少し大きい円弧状

27を描いてローター軸6の直下を中心に前後に長く形成し、しかも処理刃23の巾Cを伝動ケース下の両側に取り付けた刃10の折部11の巾Bよりも広くする。

このように本考案は適宜の原動機により軸3を回動すると、伝動ケース1内の伝動装置により推進軸4を回動し、推進車輪5を矢視方向に回転して機体を前進させる。

一方伝動ケース1内の動力は別の伝動機構によってローター軸6を回動し、刃10を矢視方向に回転して、円心力により第1図視の如く放射状に起立して刃10の先端は軌跡Aを描いて回動する。

この際、伝動ケース1下部B間は刃10が草に当たらないので、草を粉碎できないが、本考案によれば軸3に取り付けた偏心輪17によりロット18を上下動させ、ロット18の下端に設けた自在接手23に接続する作動杆22を上下動するので、作動杆22の基部の揺動軸21を一定範囲回動し揺動軸21に取り付けた処理刃支持杆24の先端に位置する処理刃25をローター軸6の略直下のし

かも刃 10 の回転軌跡 A 位置のやゝ下方で、処理刃 22 の両側 C が左右に振復 D して揺動する。

従つて、伝動ケース 1 下の草を左右へ振り分けながら刃 10 で巻き込み処理するので、伝動ケース下の草は確実に処理できる。

このように、本考案によれば、伝動ケースの直下前後に渡つて回転軌跡近くに設けた処理刃を一定の範囲、左右に揺動して、刃の回転軌跡直下迄常に伝動ケース下の草を分草しながら機体を進行させる。

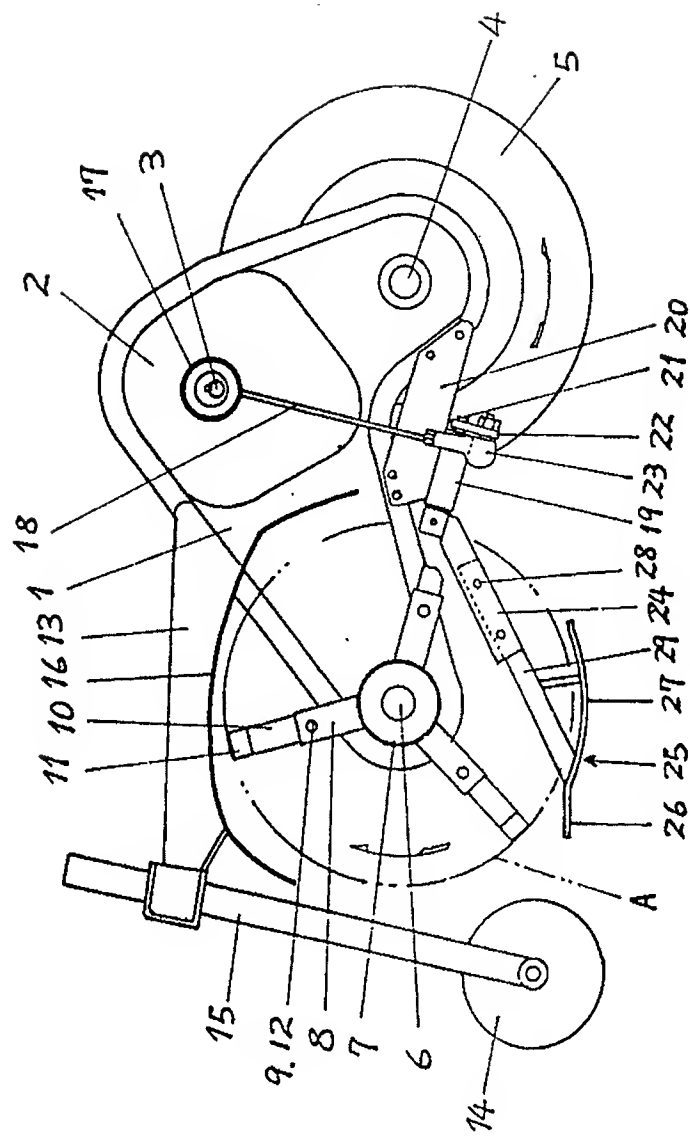
従つて、やわらかい草でも処理刃で押し倒して刈り残すことがない。又、かれ草等が処理刃にかえることなく、伝動ケース下の草も刃の下と同様、正確に刈取りできる効果を有する。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図は本考案を施した草刈機の一部を省略した側面図、第 2 図は同正面図、第 3 図は処理刃の斜面図である。

1 は伝動ケース、6 はローター軸、7 はドラム、8 は取付具、10 は刃、25 は処理刃。

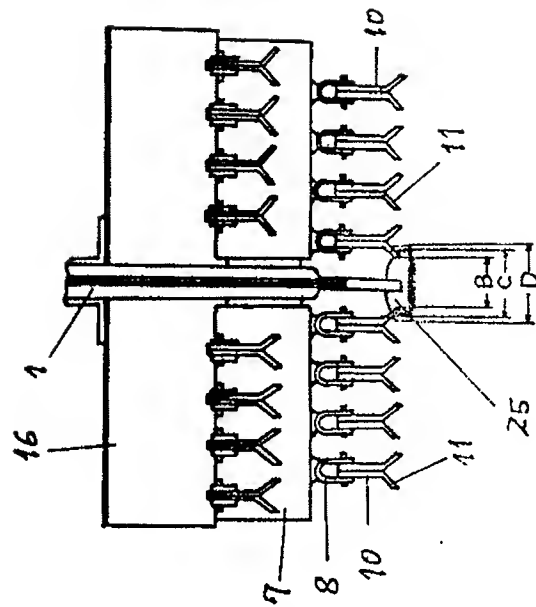
第1図



122335

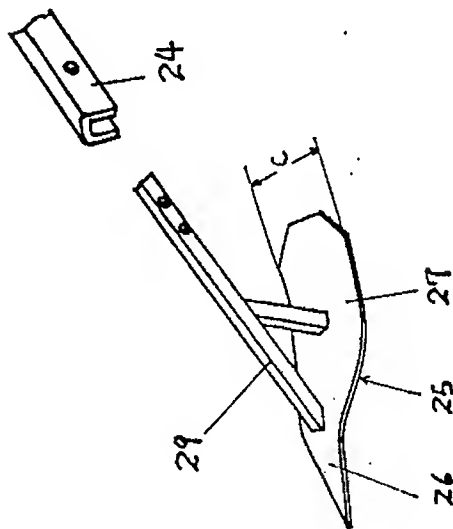
出願人 ヤマトラ線機株式会社
代表者 細田 昇

第2図



122335/2

第3図



5. 前記以外の考案者

住所 埼玉県桶川市北^{オケガワ シ キタ}1丁目5番17号
氏名 ^ミ三 ^キ木 ^{ヨシ}芳 ^{ニウ}郎